

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表：令和4年3月1日

事業所名 narelu九条

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	2 職員の配置数は適切である	3			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3			こまめに清掃を行い、清潔を心がけています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3			定期的にスタッフミーティングを行い、実践、振り返り、評価を行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			アンケートの意見を基に改善いたします。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			ホームページで公開していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		現在、行っていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			定期的に研修の機会を確保しています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			契約時や半年ごとのモニタリング面談時に、保護者様からのご要望をお伺いして支援会議を実施。その後、計画書を作成しております。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			一人ひとりの課題、年齢、特性に合わせて個別課題や、集団活動への取り組みを行っています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			児童発達支援計画担当者会議でガイドラインに示してある項目を確認しながら、支援内容を設定しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3			個別計画書に基づいてスタッフの共通理解を図り、支援を行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3			ミーティング等でプログラムの内容を検討しております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		集団活動等、毎日内容を変更している。	プログラムを担当するスタッフを毎回変更し、活動内容が固定化しないようにしています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3			
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			ミーティング等で確認しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3			療育終了後、気になった事や気付いた事を話し合い情報共有を行っています(毎日実施)。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			お子様の様子等を毎日記録し、スタッフが共有できるようにしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3			半年に一度モニタリング面談を実施し、個別計画書の見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			児童発達支援管理責任者が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3			訪問看護等の事業所と会議を実施し連携を図っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3			現在、医療的ケアが必要なお子さんの利用はありません。今後利用される場合は連携を取り、支援させていただきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3			現在、医療的ケアが必要なお子さんの利用はありません。今後利用される場合は連携体制を整えていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3			園への送迎時や、お電話で情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3			学校への送迎時や、お電話で情報共有を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			今後研修を受けます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3		現在、行っていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3			今後参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		連絡帳を活用しています。	連絡帳や送迎時、電話連絡により共通理解を図っています。
保	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3			お子様との関わりの中で、有効な声掛けや対応があった際に保護者様にお伝えしています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			契約時に保護者様へ説明しております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3			児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援管理責任者を中心に作成した「児童発達支援計画」の支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			電話連絡の際に保護者様の悩み等を伺い、支援を行っております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3		今後開催を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			連絡帳やプリントを使用して発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3			十分注意していますが、今後も意識向上に努めます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			特性に合わせた対応ができるよう心がけています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3		現在、行っていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3			各マニュアル作成済み。保護者への周知に関しては今後行ってまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			最低、年2回実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	3			契約時に保護者へ確認。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3			契約時に保護者へ確認。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			書類を作成し、スタッフミーティング等で共有していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			スタッフへの研修等を行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3			現在、身体拘束は行っていません。やむを得ず身体拘束を行う場合は、組織的に決定し、保護者へ十分説明し、児童発達支援計画に記載していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料 6

公表: 令和4年3月1日

事業所名 narelu九条

保護者等数(児童数) 5 回収数 5 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	5					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	3			2		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	5					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	3	1		1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2			3		
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	5					
適切な支援の提供	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2	1		2		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	5					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1			4		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3			2		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	5					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2			3		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2			3		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	5					
	23	事業所の支援に満足している	4	1				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月1日

事業所名 narelu九条

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	2	職員の配置数は適切である	3			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3			定期的にスタッフミーティングを行い、実践、振り返り、評価を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			アンケートの意見を基に改善いたします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			ホームページで公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		現在行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			スタッフミーティング時に事例検討や支援報告を行っています。また、外部研修に参加する機会を設けます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3			契約時や半年ごとのモニタリング面談時に、保護者様からのご要望をお伺いして支援会議を実施。その後、計画書を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			一人ひとりの課題、年齢、特性に合わせて個別課題や、集団活動への取り組みを行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			ミーティング等でプログラムの内容を検討しております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		集団活動等毎日内容を変更している	プログラムを担当するスタッフを毎回変更し、活動内容が固定化しないようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3			休日、長期休暇に関しては、今後検討していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成している	3			宿題等の学習時間や個人活動、集団活動等、様々な活動を組み合わせた支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			ミーティング等で確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3			療育終了後、気になった事や気付いた事を話し合い情報共有を行っています(毎日実施)。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			お子様の様子等を毎日記録し、スタッフが共有できるようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3			半年に一度モニタリング面談を実施し、個別計画書の見直しを行います。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	3			様々な活動に取り組む事ができるように支援しています。	
20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			児童発達支援管理責任者が参加しています。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3			学校への送迎時や、お電話で情報共有を行っています。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3			現在、医療的ケアが必要なお子様の利用はありません。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		3		現時点では行っていませんが、必要に応じて連携していきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3		保護者様からのご要望があった際は、情報交換を行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			今後研修に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3		現在行っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3			現在参加していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		連絡帳を活用している。	連絡帳や送迎時、電話連絡により共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3			お子様との関わりの中で、有効な声掛けや対応があった際に保護者様へお伝えしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			契約時に保護者様へ説明しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			電話連絡の際に保護者様の悩みを伺い、支援を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3		今後開催できたらと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			マニュアルを作成し対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			連絡帳やプリントを使用して発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	3			十分注意していますが、今後も意識向上に努めます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			特性に合わせた対応ができるように心がけています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3		現在、行っていません。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3			いつでもマニュアルを閲覧できるようしております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			最低、年に2回は避難訓練を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			スタッフへの研修等を行っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3			現在、身体拘束は行っていません。やむを得ず身体拘束を行う場合は、組織的に決定し、保護者へ十分説明し、児童発達支援計画に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3			契約時、保護者様へ確認しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			書類を作成し、スタッフミーティング等で共有していきます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表:令和4年3月1日

事業所名 narelu九条

保護者等数(児童数) 15名 回収数 15名 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2		1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		2		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2		4		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14			1		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	2		2		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	1		5		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	2		2		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1	1	1		
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	12	2		1		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	2		1		
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2		1		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	15					
	18	事業所の支援に満足しているか	15					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。